



令和7年4月

1年 87名 2年 90名 3年 96名

全校生徒数 273名

ホームページアドレス <http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/03miya3>

## <第79回入学式学校長式辞> 校長 菊地 範士

夢と希望に胸を膨らませ、本日から三中生となる新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生並びに教職員一同、心から歓迎いたします。

先程の呼名に応えた一人一人の声や、まっすぐな姿勢に、中学生になった喜びと、これからの中学校生活に対する決意が満ちあふれ、大変嬉しく、頼もしく感じました。

中学校の三年間は、心も体も、一生のうちで最も成長する時期です。また、未来に向かって生きていくための準備期間ともいえます。将来、一人の自立した社会人として、どのような生き方をしていくかを、真剣に考えていかなければなりません。

本校には、中学校生活の柱となる学校教育目標があります。それは、「志を立て、共に学ぶ生徒」です。これは、共に学ぶ仲間と認め合い、支え合い、高め合い、「志」の実現を目指して挑戦することです。そのためには、「何事にも一生懸命取り組むことが大切です。一生懸命な姿は人を感動させます。人は感動すると応援したくなります。誰からも応援され、みなさんに愛される人になってほしい。」と思います。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。変化が常と言われる今日、子どもたちが安心して学び、成長できる環境を保障するためには、身近にいる保護者と地域の皆様と学校との連携・協力が必要です。ご協力をどうぞよろしくお願い致します。結びに、ここにお集まりの皆様には富士宮第三中学校に対しまして、これまで同様のご支援・ご協力をお願いいたしまして、本日の式辞とさせていただきます。



## <始業式の校長先生の話> 抜粋

2・3年生のみなさん、進級、おめでとうございます。先程、代表生徒が力強く新学年の抱負を述べてくれました。抱負を述べてくれた3人だけでなく、皆さん一人一人の顔が輝いています。素晴らしい1年にするために、前を向いて進んで行きましょう。

さて、3年生は、いよいよ自分の進路、生き方を実際に決めていく年となりました。ぜひ、志を高く持ち、夢や希望に向かって努力してください。

2年生は、「先輩」と呼ばれる立場になります。後輩となる1年生に尊敬される、先輩になってください。

先生方も全力で皆さんを支えます。富士宮第三中学校全員で、よりよい学校にしていきたいでしょう。

## <新入生誓いの言葉> 抜粋 後藤 伊織

僕たちは先月までランドセルを背負い、それぞれの小学校に通っていました。今日からは、この新しい制服を着て通学することになり、中学生になったことを実感しています。

今日から始まる中学校生活では、この制服や部活動、教科ごと違う先生など、小学校と違うことに戸惑うことがあると思いますが、そんなことが吹き飛んでしまう程、楽しみで仕方ありません。学校行事や、新たな仲間との出会いも楽しみです。

小学校の6年間はあっという間でした。中学の3年間もあっという間だと思います。悔いの残らないよう何事にも全力で取り組み、たくさんの思い出をつくっていきたいと思います。

まだ僕たちは、分からないことが多くある状況なので、先生や先輩からたくさんのことを学んでいきたいです。



## <歓迎の言葉> 抜粋 生徒会長 小長井秀眞

皆さんはどのような気持ちで、この日を迎えられたのでしょうか。新しい生活に対する期待や不安、緊張、様々な気持ちが入り混じっていることと思います。そんな皆さんに私から、中学生において大切なことをアドバイスしたいと思います。

それは「人それぞれ違う」ということです。ある人はいいと思っても、他の人は嫌なことだっています。人それぞれの意見や個性を否定してはいけません。相手を受け入れることが一番大切なことです。

自分とは異なる人と互いに認め合うことで、人として成長できますし、学校中が笑顔であふれると思います。

ですが、これから先、辛いことや苦しいこと、悩みや不安が雨のように降ってくるかもしれません。しかし、そんな皆さんに傘を差し出すことが私たちの役目です。仲間と共に支え合い、最幸な中学校生活を送っていきましょう。



## 【1学期の決意】 令和7年度始業式生徒代表の言葉から(抜粋)

### <2年 木内 良>



積極的に行動をする。  
不安はあるが、怖がらずに挑戦

し、思いきってやり、貴重な経験をしたい。

後輩に頼られる先輩になるよう、努力をしていきたい。

### <3年 鈴木香穂音>



「明日やろう」と考えないことで、無駄な時間をなくす。

身の周りの整理整頓をして、片付けがきちんとできるようにしたい。

後輩のお手本となるよう、今自分にできることをやる。

### <生徒会 高橋 瑚花>



勉強では、苦手なことをなくしていきたい。

部活では、後輩に良い見本を見せるようにしたい。

生徒会役員として、行事などで学んだことを生活に生かしていきたい。

(原文ママ)